

絵表示	意味
	<b>注意</b> 取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	<b>お願い</b> 「必ず行なっていたく事」を示しています。

**お願い**  
組立ビス、木ビスは確実に締めこんで下さい。  
【1】図はすべて右勝手を示していますが、左勝手も同様に組み立て下さい。  
【2】組立前に内容物を確認してください。(右表を参照してください。)

**お願い**  
この説明書はドアを取付ける方へお渡しください。  
【1】錠セット・ドアクローザーの取付・調整は、それぞれに同梱してある説明書をご覧ください。  
【2】躯体への取付寸法は基準図を参考にしてください。

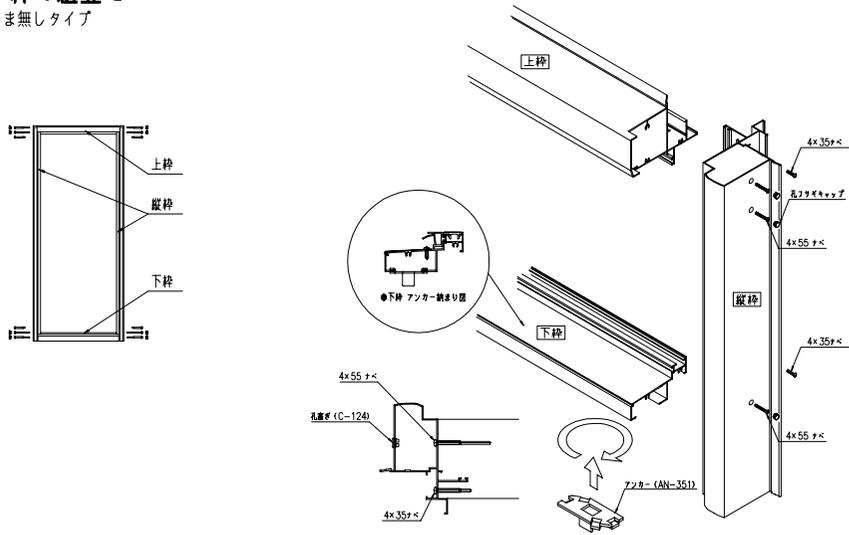
**注意**  
危険防止の為、ドアの建て込み、及び躯体への取付は必ず二人以上で行なってください。

枠タイプ	内容物	数量
らんま無し	1 上枠	1
	2 下枠	1
	3 錠枠	2
	4 ドアクローザー	1
	5 ビスセット (7ソナー、乱打キキョウ含む)	1

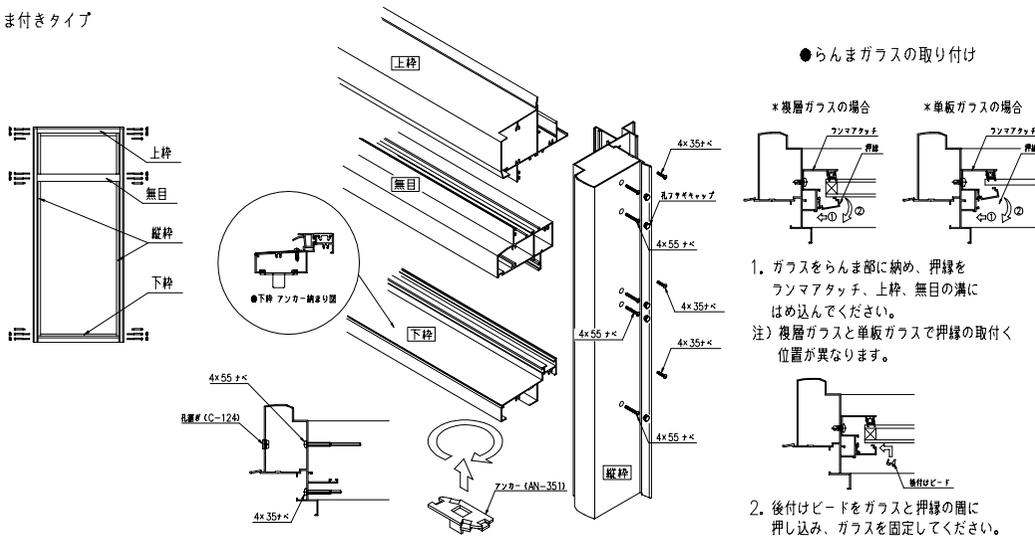
枠タイプ	内容物	数量
らんま付き	1 上枠	1
	2 下枠	1
	3 錠枠	2
	4 無目	1
	5 押縁	4
	6 ドアクローザー	1
	7 ビスセット (7ソナー、乱打キキョウ含む)	1

## 1 枠の組立て

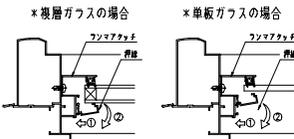
### ●らんま無しタイプ



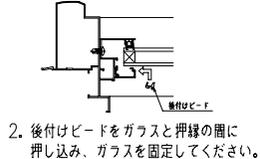
### ●らんま付きタイプ



### ●らんまガラスの取り付け

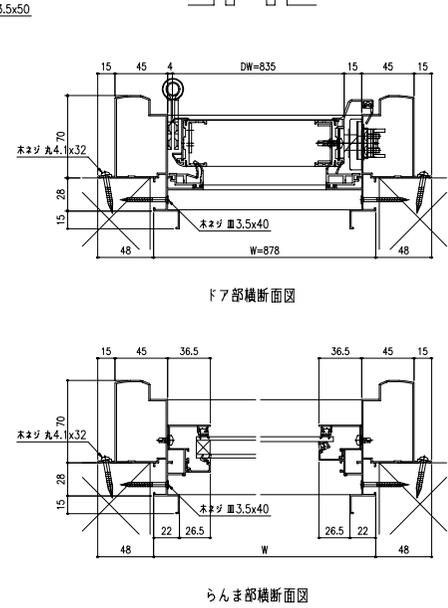
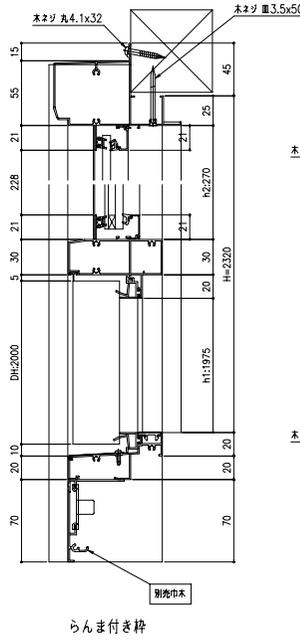
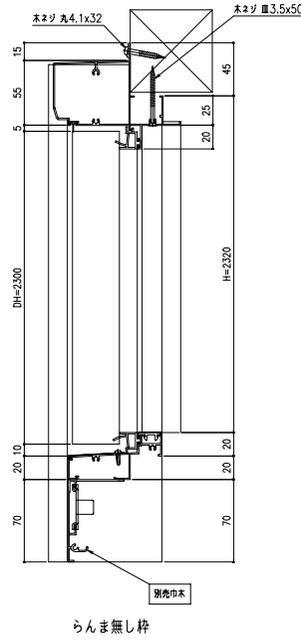
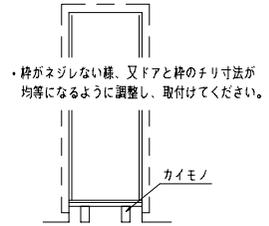


1. ガラスをらんま部に納め、押縁をランマタッチ、上枠、無目の溝にはめ込んでください。  
注) 複層ガラスと単板ガラスで押縁の取付く位置が異なります。



## 2 躯体への取付

**お願い**  
下げ振り、水準器等で開口部を正しく調整し、水平、垂直対角寸法及び、ネジれないことを確認して下さい。



らんま無し枠

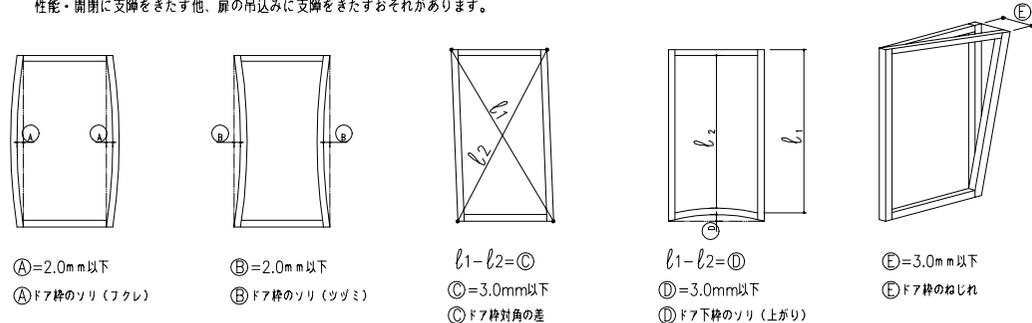
らんま付き枠

らんま部横断面図

らんま部横断面図

## 3 ドア枠について

ドア枠取付時には、以下の寸法をお守りください。  
性能・開閉に支障をきたす他、扉の吊込みに支障をきたすおそれがあります。



Ⓐ=2.0m以下

Ⓐ) ドア枠のソリ (フクレ)

Ⓑ=2.0m以下

Ⓑ) ドア枠のソリ (ツツミ)

$l_1 - l_2 = \text{Ⓒ}$

Ⓒ=3.0mm以下

Ⓒ) ドア枠対角の差

$l_1 - l_2 = \text{Ⓓ}$

Ⓓ=3.0mm以下

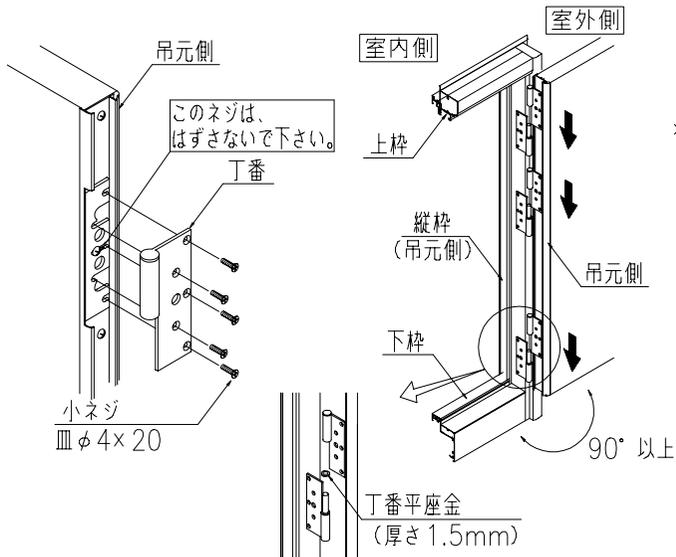
Ⓓ) ドア枠のソリ (上がり)

Ⓔ=3.0m以下

Ⓔ) ドア枠のねじれ

## 4 丁番の取り付け・調整

- ・ 縦枠に付いている丁番の本体側をはずして、ドア本体にビス止めして下さい。



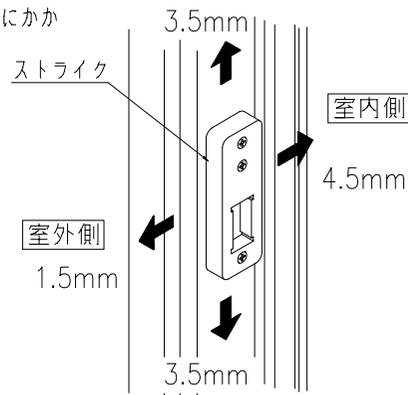
- ・ ドア本体を上げる場合は丁番に丁番平座金を入れてください。

### お願い

- ・ ドア本体建て込み後、丁番からはみ出たグリスを拭き取ってください。

## 5 ストライクの調整

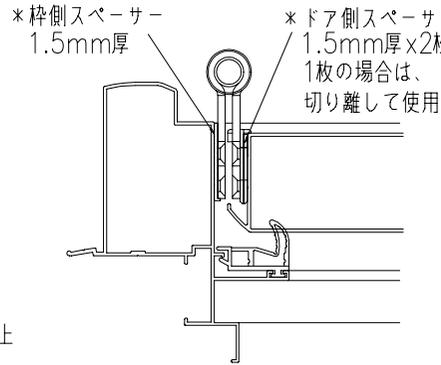
- ・ ストライクの調整は、下図の要領で取り付けねじをゆるめ、上下前後（室内・室外側）にずらし、ドアがガタつかずラッチがスムーズにかかる位置に固定して下さい。



ストライク移動可能寸法

### <丁番の調整>

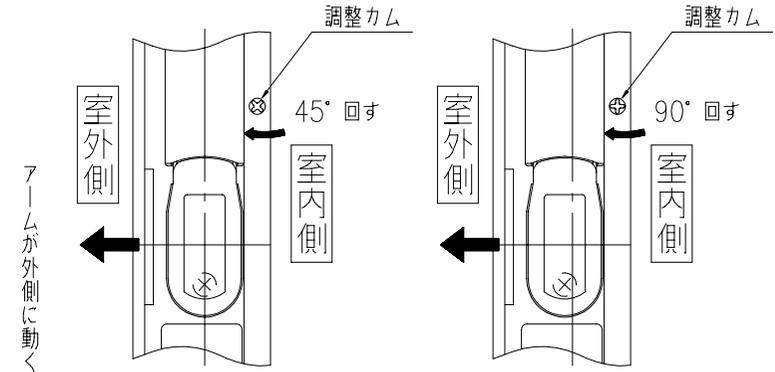
- ・ ドア本体（ラッチ）が枠又は子扉に当たる場合は下記調整をしてください。
- ・ ドア本体を左右に調整する場合  
ドア本体及び枠に取付いているスペーサーをはずす事により調整します。



- ・ ドア本体を内外に調整する場合  
・ ドアを枠から外し、枠側の丁番の取り付けネジ（5本）をゆるめて下さい。この際にねじは完全に取り外さないで下さい。
- ・ ネジをゆるめた後、丁番を室内または室外側の調整位置に合わせてネジを締め付けて下さい。

## 6 ガードロックの調整

- ・ ガードロックの調整は下図の要領で行って下さい。
- ・ 下図の調整カムを + ドライバーで時計回りに45° 回すと 1.5mm さらに45° 回すと 3.0mm 調整できます。
- ※ 調整カムを初めの位置から無理やり反時計回りへ回したり、初めの位置から90° 以上無理やり回さないで下さい。調整カムが壊れ、調整ができなくなる事があります。



本図は右勝手を示します。

## 7 下枠タイト材の切り込み（親子タイプのみ）

### お願い

- ・ 親子タイプのドアの場合は右図のように（子扉とタイト材の重なるラインで）タイト材にカッター等で切れ目を入れてください。

